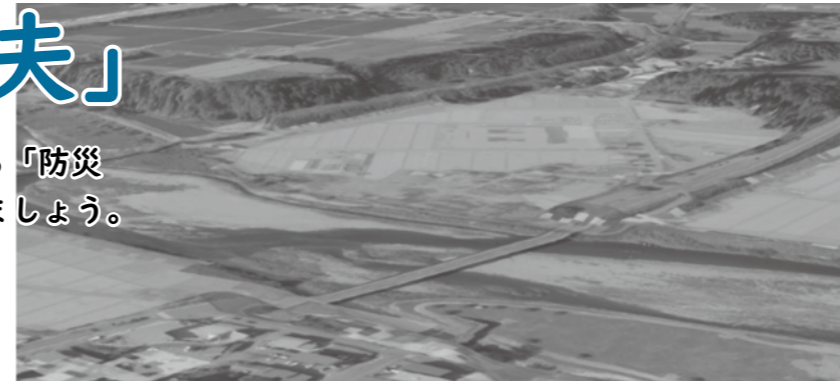


危険な思い込み…「私はきっと大丈夫」

「大丈夫」という思い込みは、災害発生時には命取りとなることがあり、たいへん危険です。まずは自宅にある「防災ハザードマップ」を確認し、「自らの命は自ら守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

公開型GISふなっの防災ハザードマップ3D



町内での水害が及ぶエリアを3D画像で確認できます。



「避難行動判定フロー」

ハザードマップや公開型GISふなっで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも、災害が起こる可能性はあります。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

いいえ

町から「避難指示」等が発令された時、屋外の安全は確認できますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日ごろから相談しておきましょう）

町が指定している指定避難所に避難しましょう

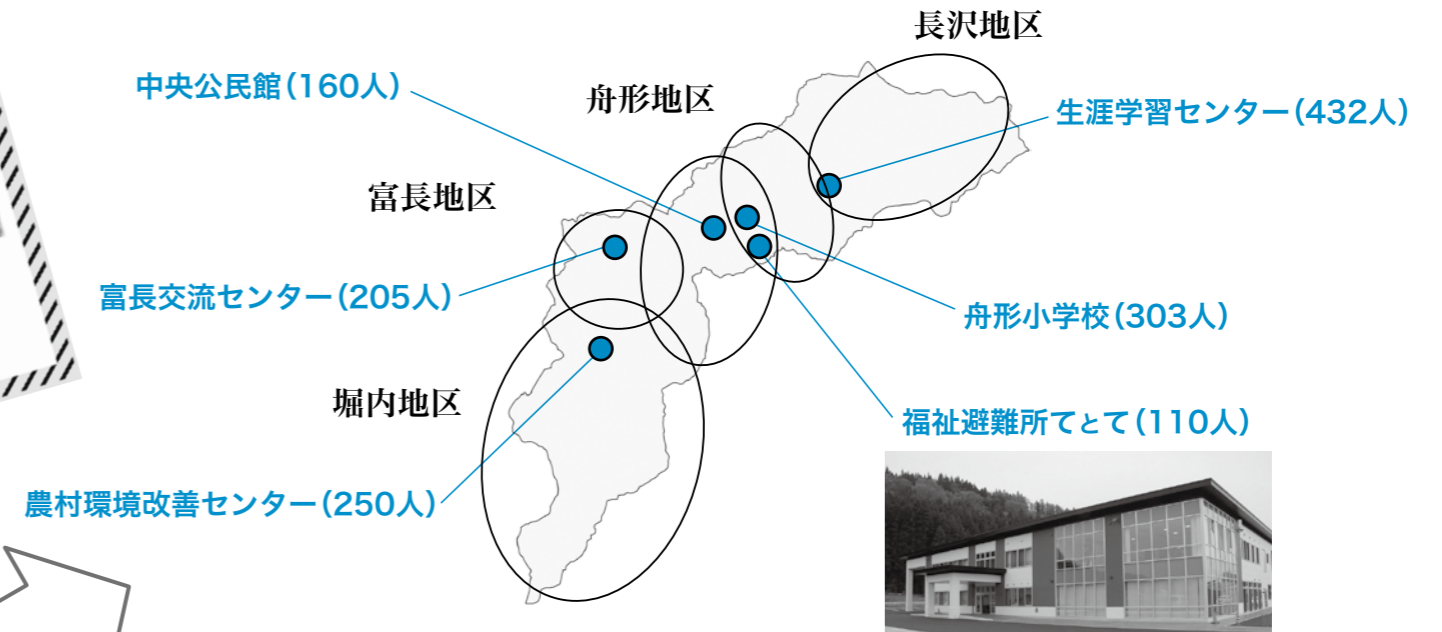
色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

自宅の2階など高い場所への垂直避難、または救助を要請してください。
▼緊急通報 ☎119



避難指示が出たら、近くの指定避難所へ

地区ごとに指定避難所がありますが、安全に移動できる最寄りの避難所を利用ください。指定避難所名と想定収容人数は次のとおりです。

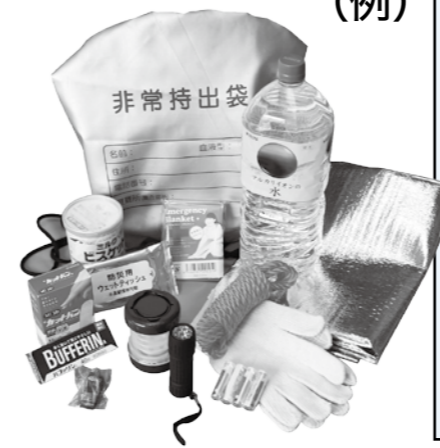


各避難所には、飲料水や食料の備蓄のほか、プライバシー保護のパーテーションなどの用意がありますが、数には限りがあるため、各個人での準備が必要です。

非常時持出品の準備をしておきましょう。

(例)

- ・非常用食品やミネラルウォーターなどの食料
 - ・常備薬や鎮痛剤、ばんそうこうなどの救急医療品
 - ・消毒薬、マスク、ティッシュ、ビニール手袋、消毒薬などの衛生用品
 - ・現金や印鑑、マイナンバーカードや運転免許証、通帳などの貴重品
 - ・乳幼児のいるご家庭は液体ミルクや紙おむつ、おしりふきなどの用品
 - ・その他、防災ハザードマップ、懐中電灯、ラジオ、生理用品、紙おむつ、カップ、ヘルメット、爪切りなど
- スマートフォンがあると、連絡や情報収集に役立つほか、電灯やラジオの代用になります。



▼問い合わせ／舟形町住民税務課危機管理室 ☎(32) 0155

避難とは・・・

避難とは、災害から命を守るための行動であり、避難行動には次のような方法があります。

屋外が安全で移動できる状態のとき

屋外が危険な状態のとき

指定避難所・指定緊急避難場所への移動。

警戒区域等内の自宅などから安全な場所への移動。(親戚や友人の家など)

近隣の強固で高い建物などへの移動。

建物内の安全な場所での待避。(家屋内での垂直避難)

やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策では、斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。